

# 松本市教育研修センターだより

No.48 令和8年3月24日

## 松本市「みんなの未来の学校(みんなミラ)」支援事業が始まります!

年度末を迎えました。飛ぶように過ぎていく日々の中、様々な校務に全力を尽くしてくださっている先生方、本当にありがとうございます。要録の作成や教室の片付け、そして次年度への準備……。この時期の多忙感は、言葉にできないほど大きなものだとお察しします。そのような中、3月23日に令和8年度からスタートする「みんなの未来の学校」支援事業、通称「みんなミラ」のキックオフ・ミーティングを開催しました。当日は、市内全ての学校から管理職・ミドルリーダーの皆さん100名以上にご参加いただき、事業の展望を共有するとともに、今後共に学びあっていく学校グループでの初セッションをしていただきました。



### 「みんなミラ」が目指すもの

私たちが目指すのは、「これまでの『当たり前』や『ふつう』を見返し、子どもの視点に立った新たな学校づくり、授業づくりに挑戦し続ける学校」です。哲学者の苦野一徳さんは、公教育の本質を「自由の相互承認」として説明しています。すべての子どもが「自分らしく自由に生きる」ことを認め合える場。そのためには、学校を「決められたことをこなす場所」から、子どもも大人も「自分たちで未来をつくる実験場(ラボ)」へとアップデートしていく必要があります。「みんなミラ」は、その挑戦を市全体で後押しするプロジェクトです。



### 具現化するための「4つの手立て」

キックオフ・ミーティングでは、「みんなミラ」推進への支援のあり方を以下のように提案させていただきました。

**財政的支援：**各校が描く理想の学校づくりのための推進費用を助成します。

**学校間連携の支援：**リーディングスクールを中心に、他校の先生と「緩やかにつながり、学び合う」コミュニティを形成します。

**マネジメント支援：**学校改革を担う校長・リーダー層へ、センターが全力で伴走します。

**先進校支援：**挑戦を続ける「シン・リーディングスクール」の知見を市全体に広げます。

松本市のすべての学校の皆さんと、少しの不安とともに、これからの学校づくりへの期待と「何かが変わるかも」というワクワクを感じながら一緒に歩んでまいりたいと思います。

## 4月1日の職員室を「ワクワク」から始めませんか？

新しい年度の初日。例年、分厚い学校運営計画を読み合わせ、たくさんの決まりやルールの伝達で時間が過ぎてはいませんか？様々な確認に追われる初日は、先生方の多忙感を生んでしまうかもしれません。そこで、「ワクワクを起点とした組織開発」（澤田真由美：先生の幸せ研究所）の考え方を取り入れ、最初の2日間の過ごし方を少しだけ変えてみる提案です。キックオフは単なる業務連絡ではなく、今年一年の職員室文化を形作る「最初の一手」です。すでに、年度初めの予定は決まっているかもしれませんが、でもちょっと変えるだけで、何かが変わるかもしれません。

### 最初の2日間で「土台」を創る

入学式までの4日間を、ただの「準備」ではなく「チームづくりの場」として再定義してみませんか？

#### 1日目午前：心理的安全性の土台づくり

「学年主任」「担任」「〇〇係」という役割で語る前に、一人の「人」として出会い直す時間です。昨年のモヤモヤも、今年やってみたい小さな願いも、安心して出せる「場」をデザインします。



#### 1日目午後：エージェンシー（当事者意識）の回復

「言われたからやる」のではなく、「なぜこの学校で、この子たちと過ごすのか」という個人の願いを繋ぎ合わせ、自分たちの仕事に意味を取り戻します。学校運営計画から「わたしのやりたい」を見つけ、「問い」を創る時間です。

#### 2日目午前：ビジョンを「私たち」のものへ

校長先生が語るビジョンを一方向的に聞くのではなく、それが自分の願いとどう響き合うかを探るナラティブ（物語）の時間。制限を外して「もし何でもできるなら、子どもたちとどんな景色が見たいか」を妄想し、1年のリズムを創ります。

#### 明日からできる「小さなチャレンジ」

いきなり全てを変えるのは難しくても、「問い」を一つ置くだけで景色は変わります。

「今年、子どもたちがどんな表情で過ごしていたら最高ですか？」

「先生が最近、個人的にワクワクしたことは何ですか？」

良質な問いは「創造的対話」のトリガーになります（安齋勇樹：MIMIGURI 代表取締役）。先生方が主体的に、楽しく学ぶ姿こそが、子どもたちの探究を支える最大の環境です。先生のゆとりは、きっと子どもの輝きに直結するはずです。

※3月19日（木）に各校にメール展開した「年度当初の職員室 もし変えるとしたら案」参照

令和8年度、松本の教育が大きく動き出します。松本市教育委員会は、皆さんの「やってみたい」に伴走し、皆さんの学校が最高のチームになることを応援します。「みんなの未来の学校」の第一歩をみんなで踏み出しましょう。

令和7年度も教育研修センターの事業にご協力いただき、ありがとうございました。